

(知事記者会見)
文藝春秋6月臨時増刊号「がん治療の教科書」への県立静岡がんセンター
関連記事の掲載

2016年6月14日
静岡県立静岡がんセンター

1 文芸春秋 臨時増刊号「がん治療の教科書」への掲載

雑誌「文芸春秋」、「週刊文春」、「文芸春秋スペシャル」において2012年から2016年に掲載された「がん治療」に関する掲載記事をまとめ、臨時増刊号「がん治療の教科書」として発刊され、県立静岡がんセンターの関連記事が掲載されています。

「がん治療の教科書」の構成

序 章 がん医療の現在地

第一章 がんの最新治療

第二章 医師がすすめるがん治療

第三章 がん専門病院の治療

第四章 がん治療を疑え

終 章 患者の選択

2 県立静岡がんセンターの掲載記事

(1) 第三章 がん専門病院の治療

・最高のがん病院大研究 がん研有明病院・静岡がんセンター・聖隷三方原病院

がん治療において、名医による「神の手」の時代は終わり、各分野の専門家がスクラムを組んで治療にあたる「チーム医療」が重要視されています。チーム医療に取り組み、成果を挙げている3つの病院の一つとして静岡がんセンターを紹介。

【静岡がんセンターに関する紹介事例】

- ・多職種チーム医療における口腔ケア
- ・がんよろず相談

(2) 第二章 医師がすすめるがん治療

・大腸がん・乳がん篇

乳がんの名医たちが受けたい治療として、静岡がんセンター乳腺センター長 高橋かおる医師の意見を紹介。

・肺がん・肝胆膵がん篇

肝胆膵がんの名医たちが受けたい治療として、静岡がんセンター副院長兼肝・胆・膵外科部長 上坂克彦医師の意見を紹介。

プレスリリース

(3) 第四章 がん治療を疑え

「手術をすべきか否か」の項において、静岡がんセンター副院長兼肝・胆・膵外科部長 上坂克彦医師の意見を紹介。

(4) 終章 患者の選択

・がん患者と家族が読むべき10冊

医療ジャーナリストが、がん患者とそれを支える家族が読むべき10冊を厳選して紹介。

【紹介された静岡がんセンター関連図書】

「抗がん剤・放射線治療と食事のくふう」 平成19年11月初版

(監修・著：山口建(静岡県立静岡がんセンター 総長)／編著：静岡県立静岡がんセンター、
日本大学短期大学部 食物栄養学科 /発行所：女子栄養大学出版部)

抗がん剤・放射線治療に伴う吐き気、口内炎などの症状別に食べられる食事を紹介。

※本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

静岡県がんセンター局 県立静岡がんセンター経営努力室 県庁駐在 TEL 055(989)5222